治療方法についての説明内容

平成　　年　　月　　日

病名・病状	（　右・左　）乳癌　（術前・術後）	
治　療　方　法	化学療法（.CE 療法 ）	
治療法の概略	２種類の抗がん剤（シクロフォスファミド・エピルビシン）を約２時間かけて点滴で投与します。 これを３週毎に４回～６回投与する。	
治療の必要性と期待される治療効果	１．　腫瘍（局所および全身）の縮小効果 ２．　再発の予防	
起こり得る合併症	脱毛（１００%）、吐気・食欲不振（９２%）、白血球減少（９４%） 貧血（７８%）血小板減少（２８%）、口内炎（５６%） 下痢（２４.０%）、爪の変形変色（５%以上）、心毒性（２%） ショック（１%以下） その他　色素沈着・皮膚炎、肝機能障害、腎機能障害、 間質性肺炎（頻度不明）など	
添付資料	有（　　）　無	
患者さんからの質問と医師の説明	患者さんからの質問	医師の説明
備　考 （他の治療法など）		

乳腺一般外科　説明医師＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

順天堂大学医学部附属　順天堂医院